



新型コロナウイルスワクチン接種を検討中の婦人科がん患者さんへ

～日本婦人科腫瘍学会～

- 婦人科がんを含めたがん患者さんは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）にかかった場合、COVID-19の症状が重くなり、死亡につながる危険性が高いことが示されています。がん患者さんは、多くの国で新型コロナウイルスワクチンの優先接種の対象となっています。
- 私たちは、婦人科がん患者さんへの新型コロナウイルスワクチンの**接種をお勧めしています**。
- 新型コロナウイルスワクチンは、臨床試験により、発症を防ぐ効果が高いことが分かっています。
- ワクチンの安全性：現時点で接種してはいけないとされる人は、新型コロナウイルスワクチン自体に重いアレルギーをもつ人だけとされており、ごく少数です。どんながんの人でも、持病やいま使っている内服薬に関係なく、ほぼすべての人が接種可能です。
- ワクチンの有効性：がん患者さんは、健常な人と比べ免疫ができにくい可能性、また手術や抗がん剤治療のため免疫ができにくい時期がある可能性があります。それでもワクチンから十分な免疫が作られます。接種の時期について迷われる場合は、あなたの主治医とよく相談してください。
- ワクチン接種に関して、よく考えて決める必要がありますが、現時点では、多くの場合、接種することのメリットが上回ると考えられます。迷われる場合は、あなたの主治医とよく相談してください。